

# 目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[問題の説明](#)

[回避策 :](#)

[関連既知の障害:](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## 概要

この資料は Oracle Database を通して CPO の複製されたサブネットワークをクリアするためにメソッドを記述したものです。

## 要件

Cisco は Cisco プライム記号 Optical ( CPO ) および基本的な Unix コマンドの基本的な知識があることを推奨します。

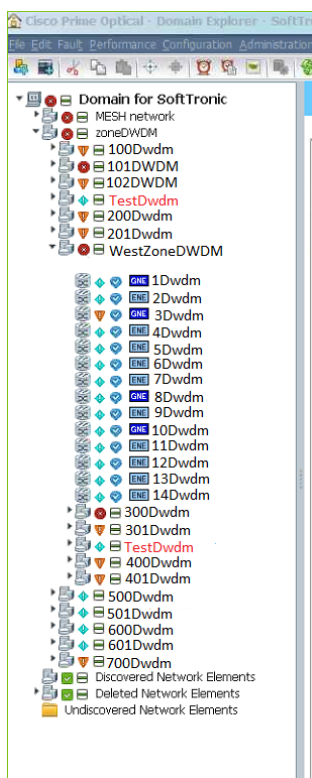
## 背景説明

問題は 9.6.3 ソフトウェア リリースで観察するかもしれないし、CPO の別のグループの一部である誰かがサブネットワークを間違っ作成する場合ために普通発生して下さい。

注 : ここでは使用される CPO のソフトウェア バージョンは次のとおりです: 9.6.3 Server:9.6.3 Build:403 Patches:4 ( 大きい )。

## 問題の説明

**問題 ( 例と ) :** 重複したサブネットワーク **TestDwdm** があり、それを削除する必要があります。



上記のピクチャからそれはことサブネットワーク「TestDwdm 見られる場合がありますか。「zoneDWDM」グループの下で利用可能です、また「WestZoneDWDM」グループ。

注：重複したサブネットワークは WestZoneDWDM グループの下にそれが不必要なサブネットであるのであります。

サブネットワーク Oracle DB にログイン することによる WestZoneDWDM グループから。

回避策：

### 重複したサブネットワークをクリアする最初方式:

**Step1:** 重複したサブネットワークを選択し、Edit タブをクリックして下さい。

**ステップ 2：** Edit メニューから Delete オプションを選択して下さい ( 重複したサブネットワークを選択して下さい-->EDIT-->DELETE )。

場合によっては上記のステップによって CPO から重複したサブネットワークを削除しても、それは CPO をリフレッシュすれば再現します。

そのケースでサブネットワークを削除するために下記のステップに従うことを試みる可能性があります:

**Step1:** サブネットワークのダブルクリックによって複製されたサブネットワークを開いて下さい。

**ステップ 2：** すべてのノードを複製されたサブネットワークの下で選択し、そして Out Of Service としてノードを右クリックし、マークして下さい。

**Step3:** CPO の Edit タブからノードを一つずつ削除して下さい。

注： ドンか。 t は Edit タブからアクティブからノードを削除し、サブネットワークを重複させるので、削除 All オプションを選択します。

ケースで上記の 2 オプションははたらないし、そのケースで Oracle DB にログイン することによって重複したサブネットワークを削除する必要があります。これは既知の不具合であり、問題をクリアするプロシージャは参照として上の例の参照によって下記です。

上の例でサブネットワーク「TestDwdm を削除する必要がありますか。 Oracle DB にログイン することによる WestZoneDWDM グループから。

**Oracle DB にログイン することによって重複したサブネットワークを削除するプロシージャ ( 各ステップのスクリーン ショットはまた接続されます ):**

**Step1:** Oracle Database へのログイン。

```
root@PObackupS ]] # SU か。 cporacle
```

```
sysdba として cporacle@PObackupS ]] $ sqlplus/
```

```
[root@PCbackupS ~]#
[root@PCbackupS ~]# su - oracle
[oracle@PCbackupS ~]# sqlplus / as sysdba

SQL*Plus: Release 11.2.0.3.0 Production on Mon Nov 30 08:52:49 2015
Copyright (c) 1982, 2011, Oracle. All rights reserved.

Connected to:
Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.3.0 - 64bit Production
With the Partitioning, OLAP, Data Mining and Real Application Testing options
SQL>
```

ステップ 2： うなり声コマンドを使用してグループ名からグループ ID を得て下さい。

SQL> は group\_info\_table からグループ ID をところで groupname=<duplicated 範囲を定められたグループ name> 選択します;

```
SQL> select groupid from group_info_table where groupname= 'TestDwdm';

GROUPID
-----
      -143
```

このステップがグループ ID を重複したサブネットワークのために割り当てられて調べるのに使用されています。

Note1: グループ名が TestDwdm、であるこの例で適切な重複によって範囲を定められるグループ名を入力するべきです。

Note2: コマンドの実際のフォント サイズは上で与えられた例と異なるかもしれません。

Step3: グループ ID から PARENTID を得て下さい。

SQL>select \* domain\_table からの...ところ childid=<GROUPID>;

```
SQL> select * from domain_table where childid=-143;

TREENODEID PARENTTYPE PARENTID CHILDTYPE CHILDID
-----
          605          2       -110          2       -143
          870          2       -124          2       -143
```

上のケースでは 2 サブネットワーク (1 オリジナルおよび複製される 1) があります、従ってそれぞれのサブネットワークに異なる PARENTID がありますか。プロトコル間の再配送には、デフォルトのメトリックを使用するのが常に最適の方法とされます。

注： -143 step2 から得る childid (グループ ID) はあります。これはケースから包装するために変わります。

Step4: step3 から得られる PARENTID からのグループ名を検索して下さい。

SQL> は group\_info\_table からグループ名をところで groupid=<PARENTID> 選択します;

```
SQL> select groupname from group_info_table where groupid=110;
GROUPNAME
-----
zoneDWDM
SQL> select groupname from group_info_table where groupid=124
2
;
GROUPNAME
-----
WestZoneDWDM
```

これはグループが重複したサブネットワークを見つけ、それに応じて削除するかどれにどの PARENTID が属するか確認することであり。

注：この場合上のコマンドを使用して、PARENTID -124 が複製されたサブネットワークである CPO の WestZoneDWDM グループの下であり、ことを確認できます。

Note1: ここにグループ ID は step3 から得る PARENTID です。

Note2: コマンドの実際のフォント サイズは上で与えられた例と異なるかもしれません。

**Step5:** 適切な行を Oracle DB から削除し、託して下さい。

domain\_table からの SQL> 削除ところ treenodeid=<REENODEID>;

SQL> は託します;

```
SQL> delete from domain_table where treenodeid=870;

1 row deleted.

SQL> commit;

Commit complete.
```

注：step4 から重複したサブネットワークのための treenodeid を得ます。

注：です必須コマンド託して下さい。

関連既知の障害:

既知の不具合であることを提案します: [CSCup57506](#).

この不具合は 10.3 のソフトウェアで前にフィックスされます。